

中学校部活動地域移行の考え方（案）  
～ 2026 年 部活動から「K O B E ◆ K A T S U」（仮称）へ ～

1. 部活動を取り巻く状況

(1) 部活動が果たしてきた役割

- ・部活動は、子供たちが文化・スポーツ活動に親しむ機会を確保し、異年齢との交流の中で豊かな人間関係を築くとともに、自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資するなど、子供たちの健やかな成長に大きな役割を果たしてきた。

(2) 生徒数減少の影響

- ・神戸市においても、少子化による生徒数減少の影響により部活動の種目数が減るなど、生徒にとって活動の選択肢が少なくなる傾向にある。
- ・さらに今後 10 年間で生徒数が大幅に減る（▲約 1 万人）ことが見込まれており、やむを得ない廃部や、単独では試合に出られない学校が大幅に増えるなど、学校単位での部活動の維持が困難になることが想定される。

[参考]

	2008 年度	2023 年度	差
生徒数	35,851 人	33,885 人	▲1,966 人
部活動数	1,197 部	1,127 部	▲ 70 部

(3) 部活動の位置づけと働き方改革

- ・部活動は学校の教育課程外の活動であるが、これまで教員が自身の時間を削り、わずかな手当だけで支えてきた。
- ・全国的に学校における働き方改革が進む中で、専門性や意思に関わらず教員が顧問を担う体制を確保することが難しくなっている。

(4) 国における考え方

- ・2022 年 12 月にスポーツ庁・文化庁が策定したガイドラインでは、まずは休日の部活動について、2023 年度から 2025 年度までの 3 年間で「改革推進期間」とし、地域の実情に応じて可能な限り早期に地域移行の実現をめざすこととしている。

(5) 神戸市のこれまでの取り組み

- ・神戸市としても、国の「地域部活動推進事業」を活用したモデル事業に取り組むとともに、2022 年度からは「部活動あり方検討委員会」を開催し意見交換等を行ってきた。
- ・また 2022 年度に児童生徒、保護者、教員にアンケートを実施し、ニーズや課題の把握に努めてきた。

## 2. 神戸市における部活動地域移行の考え方

### (1) 概要

- 部活動が果たしてきた役割を踏まえ、時代の変化に対応し、将来に渡って子供たちが主体的に選択し、多様な活動に参加できる機会を確保することを目的として、神戸市では2026年度より平日・休日ともに、生徒が地域の方々とともに活動する「神戸の地域クラブ活動」＝「KOBE◆KATSU（コベカツ）」（仮称）に完全移行する。

### (2) 「KOBE◆KATSU」の特徴

- ①神戸総合型地域スポーツクラブをはじめとした地域の幅広い団体が主体となり、中学校の施設を活用し、スポーツや文化活動など、子供たちに活動の場を提供する。
- ②子供たちは学校の枠を越えて、自身が「やりたいこと」を選んで活動する。
- ③子供たちが活動の主役となり、大人が勝利至上を押し付けない。
- ④活動団体は登録制とし、要件を満たす団体を公募し、教育委員会事務局が審査を行った上で登録する。
- ⑤「KOBE◆KATSU」は会費制とし、各クラブの運営に必要な最低限の費用は原則として受益者（各家庭）が負担する。

〔参考〕部活動と「KOBE◆KATSU」の違い

	部活動	「KOBE◆KATSU」
運営主体	学校	地域の様々な団体（登録制）
指導者	教員、部活動指導員	地域の指導者、希望する教員（兼職兼業）
参加者	当該校の生徒	生徒等（参加範囲を柔軟に設定）
活動場所	学校施設	学校施設、地域の諸施設
費用負担	部費（実費相当）	月会費等
保険	日本スポーツ振興センター災害共済	スポーツ安全保険

### (3) 移行までの進め方

- ①学校規模や居住地域にとらわれず、生徒がやってみたいことを主体的に選択できる活動としていくため、小学4～6年生の児童にアンケートを実施し、あらためてニーズ等を把握する。
- ②要件等を整理した上で、活動団体を公募する。その際、児童生徒・保護者のニーズが多様化していることから、現状の部活動にはない新たな種目も広く公募する。（レクリエーション活動やシーズンスポーツなど）
- ③教育委員会事務局において審査、登録を行い、各クラブの活動内容等について生徒や保護者に情報発信する。

#### (4) 考えられる課題等

- ・担い手となる地域団体が少ない地域が生じたり、種目が偏在する可能性があるため、調整が必要。
- ・活動場所までの移動手段の考え方について整理が必要。
- ・月会費等の費用負担が過度な負担とならないよう地域団体に働きかけるとともに、経済的に困窮する家庭への支援等について検討が必要。

### 3. スケジュール



2024年6月～ 関係団体等と協議・調整

生徒・保護者への説明

条件等を整理し活動団体を募集

2026年9月～ 「KOBE◆KATSU」に完全移行

〔参考〕2022年度に実施したアンケート結果（抜粋）

（※休日の部活動の地域移行を検討していくことを前提に実施）

（1）生徒アンケート

- ・部活動に入部した理由（運動部・複数回答）
  - ①楽しみたい 63%
  - ②うまくなりたい 52%
  - ③学校生活を楽しみたい 43%
  - ④仲間を作りたい 40%
  - ⑤良い成績を残したい 27%
  
- ・地域移行によりかなえて欲しいこと（運動部・複数回答）
  - ①専門性の高い指導 37%
  - ②レクリエーション的な活動 36%
  - ③現在と同程度の活動 36%
  - ④学校部活動にない種目 30%
  - ⑤平日・休日で別の活動 23%

（2）保護者アンケート

- ・学校部活動に期待すること（小学校保護者・複数回答）
  - ①交友関係を広げる 80%
  - ②学校生活の充実 76%
  - ③チームワークや協調性 65%
  - ④楽しむ 65%
  - ⑤挨拶・礼儀等の社会性 62%

（3）教員アンケート

- ・地域移行後も顧問を続けたいか（運動部・文化部合計）
  - 今まで通り続けたい 24%
  
- ・地域移行にあたって懸念すること（中学校教員・複数回答）
  - ①トラブル・ケガの責任の所在 77%
  - ②大会のあり方と教員の関わり 71%
  - ③平日と休日の活動の連携 62%
  - ④意欲のある指導者の確保 55%
  - ⑤緊急時の対応 52%